



異なる世代の参観者、異なる環境で生活する参観者との交流

キーワード 事前アンケート / 二次元コード / グループ / 体験談

目的

同世代と意見を交わすだけでは及ばない視点で考えを広げる、深める

参考となる取組

保護者への事前アンケートを活用

事前に保護者へアンケートを実施し、児童生徒の考えを広げ、深めるために活用。授業の終わりに、保護者が記入したアンケートを児童生徒へ返却することで、保護者から児童生徒への個別のメッセージのプレゼントに。

また、授業終了後にアンケートを廊下に掲示することで、当該クラス以外の参観者も授業内容を知ることができ、家庭や地域へ話題を広げることにつながる。

二次元コードを活用した意見の収集

電子黒板に表示した二次元コードの先に、中心的な発問についての回答フォームを設置。児童生徒が中心的な発問に対する自分の考えをまとめている間に、参観者は自身の端末を使って回答を入力。リアルタイムで参観者の意見を集約し、授業の進行に活用。

グループの一員として参加

児童生徒のグループに参観者が一員として参加。社会経験が豊富な参観者を含めたグループで話し合いを行うことで、児童生徒だけでは思いつかない意見も出て話し合いが活性化し、児童生徒への刺激となった。意見発表では、多様な意見がみられた。

保護者の体験談

事前に実施した保護者アンケートの回答から、道徳的価値に迫るために参考となる体験を記載した保護者に依頼し、授業の中で自身の体験について話をしてもらう。



- ・学校や学級の実状にあわせて、取り組みやすい形でやってみよう！
- ・学校だよりや学級通信を利用して、参観者参加型授業を行う目的を発信しよう！



人、もの、こと、様々な地域資源を生かして

キーワード

郷土作家 / 地域の行事 / インタビュー / ゲストティーチャー

目的

身近な人、もの、ことを教材とすることでより自分事としてとらえる

参考となる取組

郷土作家の作品を教材化

郷土の作家の文学作品を教材として活用することで、児童生徒の興味関心を喚起。

地域の行事と関連付けて

「さが祭時記まつりびと」など、地域の行事の映像を活用することで児童生徒が考えを深めるための手助けに。

地域の方へのインタビューを生かして

日頃から学校教育へ理解を示し、協力してくださる、児童生徒にとっても身近な地域の方へインタビューを実施。インタビューの動画を授業の中で視聴したり、インタビューの内容を読み物教材に。

ゲストティーチャーを活用

児童生徒が道徳的価値に迫るための手助けとなるような専門知識をお持ちの方をゲストティーチャーとして迎えることで、新たな感じ方や考え方を生み出す。



- ・自治会などへ地域人材や地域教材の開発の目的を伝えたり、協力を依頼してみよう！
- ・「体験談を語ってほしい」「思いを教えてほしい」など、求めるものを具体的に伝えよう！



家庭や地域の積極的な参加や協力を目指して

キーワード アンケート / Webサイト / 回覧

目的 家庭や地域と連携した道德教育を行う意識を高める

参考となる取組

家庭や地域を対象としたアンケートから

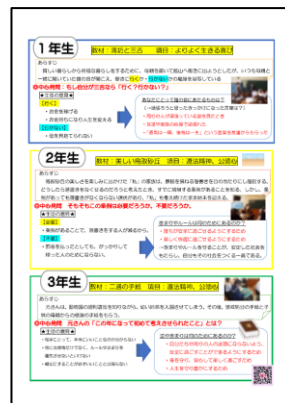
学校の道德教育に家庭や地域の願いを反映するために、重点的に取り扱ってほしい【内容項目】についてアンケートを実施。次年度の道德教育全体計画等に生かすことで学校と家庭、地域が密接に連携。

地域の回覧を利用

自治会へ道德通信等を配布し、地域の回覧へ加えてもらうことで、保護者以外へも学校の道德教育を知ってもらう機会に。他にも公民館や公共図書館への配布、掲示依頼も効果あり。

Webサイトの活用

学校Webサイトを活用し、道德通信等を掲載することで、学校の道德教育の取組を広く周知し、家庭や地域の理解や協力を得ることができるよう。



この通信を作成した神崎中学校の学校Webサイトでは、これまでに発行した通信を見ることができます。
<https://www.education.saga.jp/hp/kanzaki-i/>



・積極的に広報活動を行うことで家庭や地域との連携につなげよう！